

平成19年西東京市教育委員会第1回定例会会議録

- 1 日 時 平成19年1月23日(火)
開会 午後2時04分 閉会 午後2時28分
- 2 場 所 保谷庁舎 防災センター6階講座室2
- 3 付議事件 別紙議事日程のとおり
- 4 出席委員 委 員 長 竹 尾 格
委員長職務代理者 角 田 富美子
委 員 大 後 みき子
教 育 長 宮 崎 美代子
- 5 出席職員 学 校 教 育 部 長 村 野 正 男
学校教育部参与兼教育庶務課長 二 谷 保 夫
学校教育部主幹(教育庶務課) 小 野 隆
学校教育部副参与兼学務課長 富 田 和 明
学校教育部副参与兼指導課長 大 町 洋
統 括 指 導 主 事 中 村 豊
学校教育部副参与兼教育相談課長 長 澤 和 子
生 涯 学 習 部 長 名 古 屋 幸 男
社 会 教 育 課 長 宮 寺 勝 美
ス ポ ー ツ 振 興 課 長 東 原 隆
保 谷 公 民 館 長 相 原 昇
中 央 図 書 館 長 小 池 博
- 6 事務局 教育庶務課庶務係長 白 井 清 美
教育庶務課庶務係主任 後 藤 幸 男
- 7 傍聴人 0人

平成19年西東京市教育委員会第1回定例会議事日程

日 時 平成19年1月23日(火) 午後2時～

会 場 西東京市防災センター6階 講座室2

第1 会議録署名委員の指名

第2 議案第1号 教育財産の処分について(申出)

第3 報告事項 (1) 児童・生徒数及び学級数について
(2) 平成18年度成人式事業実績報告書

第4 そ の 他

西東京市教育委員会会議録

平成 19 年第 1 回定例会
(1 月 23 日)

午後 2 時 0 4 分 開 会

議事の経過

竹尾委員長 ただいまから平成19年西東京市教育委員会第1回定例会を開会いたします。

これより直ちに本日の会議を開きます。

日程第1 会議録署名委員の指名を行います。本日は大後委員にお願いいたします。

竹尾委員長 日程第2 議案第1号 教育財産の処分について(申出)、を議題といたします。提案理由の説明を求めます。

宮崎教育長 議案第1号 教育財産の処分について(申出)の専決処分について、の提案理由を御説明申し上げます。

本件につきましては、明保中学校校地南側の前面部分を、西東京都市計画道路3・4・11号線事業用地の買収に応じるために、教育財産の一部処分について市長に申し出ることを行うよう、提案するものでございます。詳細につきましては事務局より御説明いたします。よろしく御審議のほど、御決定賜りますようお願い申し上げます。

二谷教育庶務課長 委員長、申しわけございません。ちょっと休憩をお願いできますか。

竹尾委員長 休憩いたします。

午後 2 時 0 6 分 休 憩

午後 2 時 0 7 分 再 開

竹尾委員長 再開いたします。

宮崎教育長 一部発言に訂正がありますので、改めて申し上げます。

教育財産の処分について(申出)、について提案理由を御説明申し上げます。

小野学校教育部主幹 それでは、資料に基づきまして詳細に説明させていただきます。

2枚目に図面がついてございます。2枚目を御覧ください。色分けが2種類、緑色と赤色で色分けをしてございます。今回、教育財産の処分をする部分につきましては、この緑と赤の部分の合わせた部分が処分という形になります。

まず、赤色の部分が、今説明いたしました都市計画道路3・4・11号線の事業用地になってございます。

それで、緑色の部分につきましては、売却する学校用地がこの道路で分断されるということもありまして、残地として残る部分であります。この残地を教育財産として使用できるかということにつきましては、内部検討もいたしておりまして、残地が見てのとおり土地形態が整形地でもないということもありますし、学校とこの残地が道路で分断されるということもありますので、残地が有効に使えないのではないかということの判断から、財産処分をあわせて行うということにいたしました。

よって、当該道路事業に伴う買収面積につきましては、1枚目の表にございますが、道路部分が1,358.58平方メートル、残地部分が870.78平方メートル、合わせまして2,229.36平方メートルを売却するということになります。以上でございます。

竹尾委員長 説明が終わりました。質疑を受けます。

角田委員 設置基準等々にはきっと問題ないと思うんですけども、これだけの土地がなく

なって大丈夫なんですか。支障はないのでしょうか。

小野学校教育主幹 この都市計画道路というのは昭和の初期から事業線が引かれている部分に後から学校用地として購入したものでありますので、事業計画による影響はないものと思っております。

竹尾委員長 ほかに質疑はございませんか。 質疑を終結します。

これより討論に入ります。 討論なしと認めます。

これより本議案を採決いたします。原案に賛成の方の挙手を求めます。

〔賛成者挙手〕

全員賛成。よって、議案第1号 教育財産の処分について（申出）、は原案のとおり可決されました。

竹尾委員長 日程第3 報告事項、に移ります。

それでは、報告事項について説明をいただきます。

まず、児童・生徒数及び学級数について。

富田学務課長 御説明申し上げます。

お手元の資料を御覧いただきたいと思います。西東京市立小学校児童数・学級数状況表でございます。表が小学校で裏面が中学校ということになってございます。

数字について若干御説明をさせていただきたいと思います。本年と、それから昨年と同時期と比較して御説明を申し上げたいと思います。今回ご用意させていただいたのは本年のみですので、数字を伝えながらご説明を申し上げたいと思います。

まず、Aの通常学級でございます。9,411名で295学級でございます。これを昨年同期と比較いたしますと、48名増で、学級数として6学級増でございます。19小学校の内訳を申し上げますと、8校が増で11校が減でございます。そして、結果的に48名の増。大きな要因といたしまして、下から4番目、上向台小学校700名というふうになっておりますが、昨年同期と比較いたしますと、この上向台小におきましては、154名、かなり大幅な増を示してございます。しかし、先ほど申し上げましたように、ほかの11校が減でございますので、結果的に48名の増というふうになっております。

ただ、今回特に注目すべきところは、下から2番目の住吉小、それから真ん中ほどからちょっと下の泉小学校、1年生でございます。そこに「1」というクラス数がございます。要は、単学級が出てきたということが一つ注目すべきところかと思えます。先ほど来申し上げましたように、上向台小のような大幅にふえてきた半面、このように単学級が出てきたということが西東京市の顕著にあらわれた現状でございます。

その下の心身障害学級、それから通級学級、BとCについて御説明申し上げます。

まず、心身障害学級、Bの方でございます。こちらについては知的と情緒がございます。その表の上の三つが知的でございます。下が情緒でございます。知的の方につきましては現在52名、昨年同期に比べますと12名の増でございます。学級も2の増を示してございます。下の二つの情緒につきましても2名の増です。学級数については変わりはありません。

それからCでございます。通級指導学級、こちらについても上の二つが情緒で下が言語で

ございます。情緒につきましては現在77名、26名の増でございます。学級といたしましては2学級の増。言語につきましては74名から72名と、逆に2名減でございますが、今回、一番下段の芝久保小というところがこの4月からスタートいたしまして、学校といたしましては二つになりました。ですので、児童数については減ではございますが、いわゆる2地域に分けられたということで、今までの保谷小がかなり余裕が出てきたというふうに御理解をいただければと思っております。

それでは、中学校の方についてご説明を申し上げます。裏面でございます。

こちらについても、昨年同期と比較いたしますと102名増と、小学校に比べて相対的にかなり増になってございますが、学級数については増減ございません。ゼロであります。こちらについては9学校のうちの6がプラス、そして3が減ということで、相対的にかなり増になっております。

Bの心身障害学級についてご説明申し上げます。こちらは上の二つ、田無第一中と保谷中の、これも知的でございますが、31から25ということで、6名減でございます。それから、下の情緒につきましても12名から8名というふうに減はしてございますが、こちらについてはそれぞれの学年が、たまたま去年の3年生が多くて今年の1年生が少なかったというように、基本的に今年と去年の差についてはそのような特殊性があるかなというふうには思っております。以上です。

竹尾委員長 続きまして、平成18年度成人式事業実績報告について。

宮寺社会教育課長 それでは、平成18年度成人式事業の実績報告をいたします。

今年度の成人式につきましては、式典の中に新たに成人を迎えられた方にあいさつをお願いし、成人になった思いを語っていただいたこと、それから記念品を新成人のためのエチケット・マナー事典に変更した点が大きな特徴でございます。関係者から御好評を得たものと考えております。

それでは、お手元の配付資料をもとにご説明いたしますので、よろしくお願いいたします。実施日は平成19年1月8日、成人の日に午前の部と午後の部の二部に分けて、保谷こもれびホールで実施いたしました。対象者については、例年のとおり学齢で対象者とし、昭和61年4月2日から昭和62年4月1日までにお生まれになった方を対象といたしまして、今年度の対象者の総数は2,209名となっております。なお、中学校卒業時に市民で、その後市外へ転居された方も77名この中に含まれております。出席者数につきましては1,125名で、出席率は50.9%となっております。記念品につきましては、先ほども申し上げたように、新成人のためのエチケット・マナー事典ということに変更いたしました。式の内容につきましては、開会、国歌斉唱の後、主催者あいさつとして、坂口市長と竹尾教育委員会委員長のあいさつの後に、来賓を代表して、鈴木市議会議長より御祝辞をいただきました。その後、新しい試みといたしまして、午前の部では田無第一中学校卒業生の倉田美幸さん、それから午後の部では、ひばりが丘中学校卒業生の関真由子さんから新成人のごあいさつをいただき、思いを語っていただいたものでございます。なお、来賓者として中学校卒業当時の校長先生や担任、副担任の先生等には案内状を送っているところでございます。

裏面を御参照いただきたいと思います。裏面につきましては、平成13年度以降の成人式

の参加者の推移を記載しておりますので、御参照いただければと思います。簡単ではございますが、これで成人式の報告を終わらせていただきます。

竹尾委員長 説明が終わりました。質疑を受けます。

角田委員 先ほどの児童数・学級数の状況表をちょっと見せていただいていたんですけども、特に心身障害学級と通級指導学級のところなんですが、これはふえている傾向にあると見てよろしいんですか。

富田学務課長 はい、ふえている傾向にあると見てよろしいかと思っております。

角田委員 これは、児童数がふえているからこちらのB、Cの方もふえているというふうに解釈してよろしいのでしょうか。それとも、手厚い特別支援の教育の充実によって、むしろふえているというふうに感じた方がいいのか、その辺をちょっと教えてください。

富田学務課長 特に特別支援だからこそふえてきたということではありません。逆に、そういう実情があるからこそ、特別支援という制度が始まったというふうに私どもは考えております。

角田委員 わかりました。

竹尾委員長 ほかに質疑はございませんか。 質疑を終結します。

以上で日程第3 報告事項、を終わります。

竹尾委員長 次に、日程第4 その他、を議題といたします。教育委員会全般について、ご質問等がございましたら、御発言を願います。

大後委員 各学校からの学校だよりを拝見していて、新年度にける意気込みとか、先生方の日ごろ努力していらっしゃる様子がよくわかって心強かったんですが、その中で、ちょっと発見といいますか、今、東京都の公立学校の水道の問題がニュースで出ていますけれども、水道栓を直結するという。ある学校の学校だよりを拝見していましたら、節水に努めた結果、1年間ですごく水道代が節約できたという記事があったんですが、1年間で190万円も4年前と比べると節約できたという記事があったんですが、これは何か特別な節水の方法があったんでしょうか。それと、それを各学校にも広げて考えられるものなんでしょうか。

二谷教育庶務課長 ご質問の件は、恐らく光熱水費ということで、そのうちの水道代ということだというふうに思います。水道代が、今の御質問ですと1年間で190万円、4年前と比べるとということですが、御存じのように光熱水費はその年のそれぞれの気候、温度によってすごく差が生じています。ですので、一概に節水だけで190万円かというのは、なかなかそこら辺の結論は出しにくいというのが実態です。夏、かなり暑いと水道は、要するに飲み水、それからプールの水、これが相当出る、一方で夏場に冷夏で雨が多いとプールが非常に少ないということでありまして、それによって光熱水費が実はかなり動いているというのが実態です。

ちなみに、西東京市の場合、小学校が19校ありまして、光熱水費の経費が大体2億6,000万円ほどでございます。そのうちの水道代ということになりますと、そういう中で動いていきますと、一概に節水だけで190万円浮いたかというのはなかなか言い切れないかなと思います。ただ、私どもとしては、光熱水費が年々ふえているということもありますので、

できるだけ学校の方には節電、節水は呼びかけをお願いしているということで、そちらに書いてあるのもそういう、こちらの呼びかけに対応していただいて、水の垂れ流しがないようにということで、子どもたちにも協力をしていただいて節水に努めた結果、かなり効果があったのかなということだと思います。

大後委員 わかりました。もしこれが本当にこの数字がこのとおりだったら、各校でこの節水を進めたらすごいなと思ったものですから。

それと今、都で全都的に水道栓を交換するという話がありますけど、おいしくなるともって水を飲む子どもがふえるかなと思ったんですけど。わかりました。

それから、ボランティアのことなんですが、各学校でいろいろな取り組みをしていらっしゃる中で、例えば保育園の実習をするということを取り上げたとしますと、それをボランティアとしてとらえている場合と、それから職場体験として経験している場合と、いろいろあるようなんですが、そのボランティアというものの考え方がどういうふうになっているのかなというのが日ごろちょっと疑問に思っていたものですから、何か教えていただけたらと思います。

中村統括指導主事 これは、一般と同じ形でよろしいかなと思います。と申しますのは、無償であり、人の役に立つ、人のニーズに対して、困っている人に対して支援申し上げるといような形で考えればよろしいのかなというふうに思っております。

大後委員 あと、例えば道路掃除、道の清掃をするというような同じ活動をとってみますと、例えばボランティアとして清掃作業をするという例と、それから地域の方と触れ合うという意味で清掃するというのと、同じ活動でも学校によって取り組みが違うような感じがするんですが、その辺はどうでしょうか。

中村統括指導主事 確かに、先ほどの保育園の実習もボランティアなのか職場体験なのか、それから今の掃除の件も地域活動なのかボランティアなのかということですが、それぞれ学校は活動の中心的なねらいを持ちます。ですから、ここは同じ活動だけれども、この辺を重点に子どもに事前指導をするとか、事後の反省もこの視点をもって反省していくという形があるかと思います。特に地域清掃の場合は、例えば地域の方とどれだけ触れ合えたのかと、その方法としての掃除であると。例えばボランティアであれば活動そのものがボランティアであるので、その視点から反省を考えてみるとか、次のねらいを考えてみるとか、そのような指導のプロセスが若干変わってくるんであろうというふうに考えます。

大後委員 各校で取り組んでいらっしゃるボランティア活動の体験記録集というんでしょうか、ああいうのを拝見していますと、とても皆それぞれに得るところがあって、有効な活動だなという感じはするんですけども、今おっしゃったようなねらいがいま一つはつきりしないかなという感じがすることもあったものですから、ちょっと伺ってみました。

それと、実際に道路で清掃作業をしている子どもたちにちょっと話しかけてみて、「今は何の時間なの」と聞くと、「わからない」というような答えが返ってきたりすることがありますので、その辺はもう少し徹底して、ボランティアとか職業体験とかということを今キャリア教育とかというふうに重視されていますので、もう少し意識を高められるような指導があったらいいかなというふうに思いましたので、お願いしておきます。

竹尾委員長 ほかに質疑はございませんか。 質疑を終結します。

以上で日程第4 その他、を終わります。

以上をもちまして平成19年西東京市教育委員会第1回定例会を閉会いたします。どうもありがとうございました。

午後 2 時 2 8 分 閉 会

西東京市教育委員会会議規則第29条の規定によりここに署名する。

西東京市教育委員会委員長

署 名 委 員